

2025 年 9 月 10 日 会員各位

一般社団法人日本輸血・細胞治療学会

新鮮凍結血漿使用ガイドライン小委員会 前委員長 長谷川雄一

ガイドライン委員会委員長 藤原 慎一郎

理事長 松本 雅則

科学的根拠に基づいた新鮮凍結血漿の使用ガイドライン：2025 年改訂版（案）に対する

パブリックコメント募集

日本輸血・細胞治療学会による「科学的根拠に基づいた新鮮凍結血漿の使用ガイドライン」1)は、2013 年から日本輸血・細胞治療学会の「ガイドライン委員会」の分科会である「新鮮凍結血漿の使用指針策定に関するタスクフォース」から始まり、2014 年 3 月には厚生労働科学研究費補助金事業ならびに国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）研究開発事業「科学的根拠に基づく輸血ガイドラインの策定等に関する研究」に継続された。1995～2014 年に発表された関連文献 2759 件を元に作成された。大項目 5，小項目 15 のクリニカルクエッション:CQ に当時の最新の知見を提示し、特に大量出血における新鮮凍結血漿の積極的使用を推奨したことは画期的であった。その後も改訂の作業は継続し、2019 年改訂版 2)では CQ の整理と 2015 年以降に公表された追加文献から 148 の報告に対しエビデンス総体を評価し、エビデンスレベルの改訂などが行われた。今回の 2025 年改訂版では、新たにヘパリン起因性血小板減少症:HIT・ワクチン起因性免疫性血栓性血小板減少症:VITT に対する新鮮凍結血漿の意義を新たに検討した。従来の CQ に対しても 2017 年以降の報告を精査し新たな知見の確認を加えた。更に、新鮮凍結血漿が次善策であっても最善策が適応できない環境において新鮮凍結血漿の使用が不適切と判断されないように配慮を行い「科学的根拠に基づいた新鮮凍結血漿の使用ガイドライン：2025 年第 3 版（案）」を策定した。

1) 松下 正, 長谷川雄一, 玉井 佳子 他: 科学的根拠に基づいた新鮮凍結血漿（FFP）の使用ガイドライン. 日本輸血細胞治療学会誌, 63: 561-568, 2017.

2) 松下 正, 長谷川雄一, 玉井 佳子 他: 科学的根拠に基づいた新鮮凍結血漿（FFP）の使用ガイドライン [改訂第 2 版]. 日本輸血細胞治療学会誌, 65 : 525—537, 2019.

上記、「科学的根拠に基づいた新鮮凍結血漿の使用ガイドライン：2025 年改訂第 3 版（案）」の内容につきまして、会員の皆様にご意お寄せいただければ幸いです。

パブリックコメント募集締め切り；2025 年 10 月 10 日(金) 募集方法；E-mail で pub-shinsen@ml.jstmct.or.jp までご意見をお送りください。